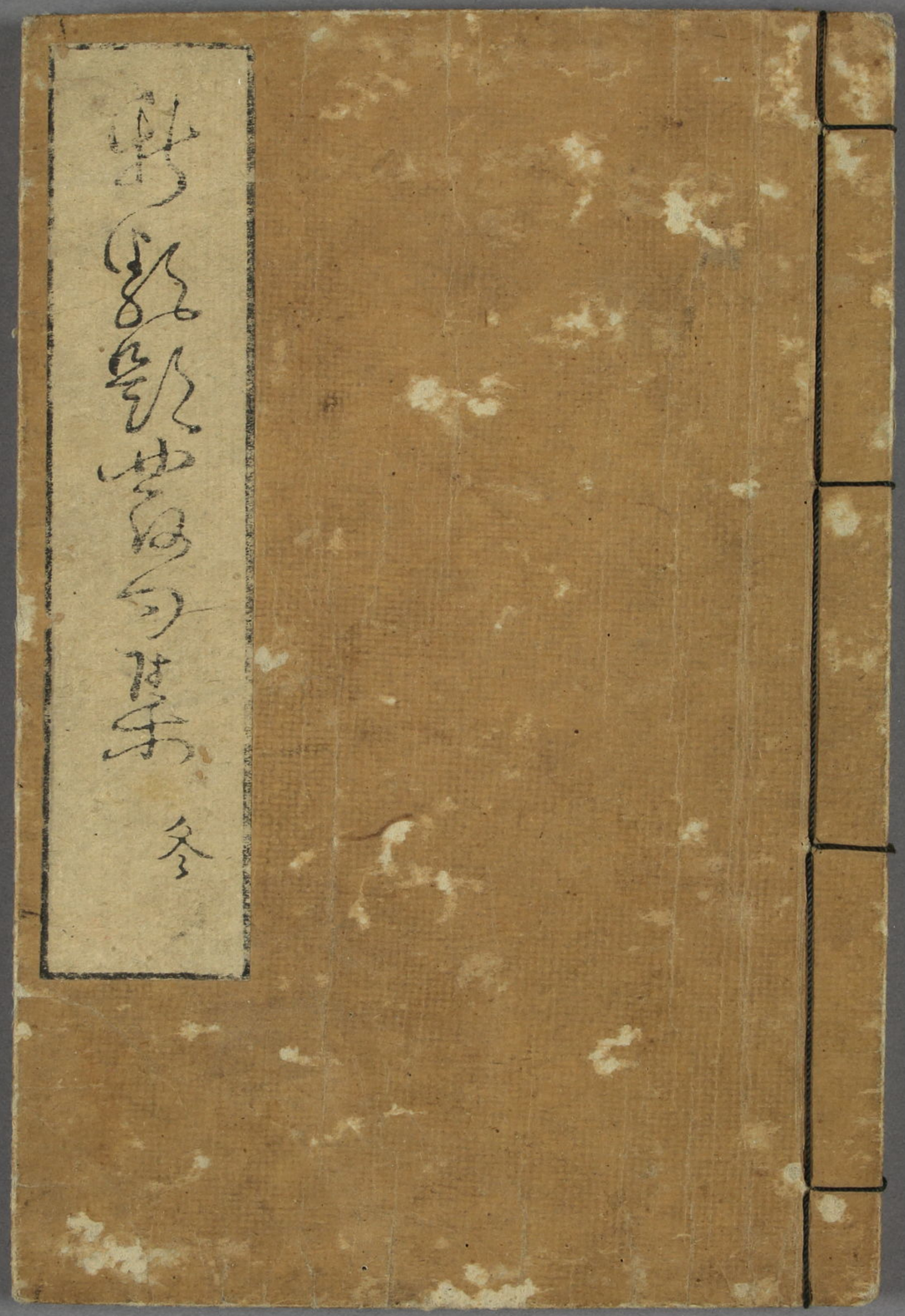
冬

新撰歌合集卷之五

十月

神無月　宮この紅葉ちりやうつるらむ
降雨乃中にしぐれて十月

小春　いなかなる小春日和
冬籠小春ふかしるる乳

小六月　あて丈の白ふ小春ふか
鶯ふかく接ぎ咲ぬ小六月
蘭ふ竹ふ咲ふ小六月

土佐　墨晴
鶴翔
江戸　二柳
有時
伊勢　徐行
幽竜
其恵

蝶夢編

神送

神留る

木姿　古彩　傘社　市蕙　作嘉　古巣　女　花朗　用悟　其右　城石　佳猿　野坊

神帰

神迎

玄猪

達磨忌

芭蕉忌

宇中　紫志　鈴碑　天法　素郷　作法　再可　道肥　之与　蘭径　英富　秀民

清影講

十夜

清教戒

雑子講

松後　和泉
花屋　陸奥
由口
鼓曼
十城
良城　紀伊
鵜哉　江戸
仆十　紀伊
淹列
雪光

雑之構

冬日

短日

冬月

江戸
立礎
斗外
知泊　上野
素彭　武蔵
几熊　陸奥
素蝶　江戸
鳥喬
古玲
光雲
雅風

所風　近江　仮興
素拝　成義
此柏　寒口
伊勢　蔵文
右拝　暁長
尺布
良嬉

冬雨

初時雨

之忠　常陸
歌壺　甲斐
三孫　近江
春香
亀渕
伊勢　坊性
湖月
齊古
東麦
三河　鶴庵

時雨

[illegible]

江戸 山窓

傘和

伊豆 島考

天法 芙仙

筑後 [illegible]知

郡岩

伊勢 露瀬

加賀 完年

曉亀

泰溪

[illegible]

伊勢 風化

万戸

[illegible]

加賀 雅清

江戸 吉武

摂津 暮給

南天

子坤

松後

蝶夢

川音時雨　　陸奥　椎名
松間霧　　陸奥　似蓉
初霜　　伊勢　栗角
　　伊勢　吳右
　　但馬　有橋
　　下総　鳳毛
　　摂津　沙蘭
　　行充
　　城中　井里
　　玉屑

霜

初霜や　陸奥　楓林
けの雪や　下総　紫花
たつ雪より　陸奥　雪鴻
鶴の羽の　陸奥　化石
朝霜や　陸奥　素兄
朝雪や　尾　素鈞
あさ雪や　丹後　倭泉
あさ雪や　摂津　泉々
朝雪や　摂津　十歩
さの稗の　文堂

霜夜

霜柱

霜折

呂彩　風泥　三器　月丘　五喬　群長　重厚　得洩　素恒　紫曉

初雪

雪

仁安　俊成　吳法　白丈　了休　玄后　巨鳥　文里　敦氷　青蘿　古栄　梅珠　一斤

旅人の宿かりかねし雪のくれ　礫碎

雪の夜や道場もてらさはしらの　散菴

灯ともや影の来る窓や雪　伊勢知

居風呂に火のつくおとや雪雲　坡居

此の雪くてはらく雪や書　太渓

市中や昔の雪の旅宿　百尾

かくらめや月夜の雪の瞼まて　五雲

遠山の雪くちや月夜かな　鋲蔓

見とてや雪の月や雪の山　麦光

雪解て山くさ水や庭のかけ　祥銘

ゆふめしや宿は浅黄の昔の雪　甫尺

朝日とも日の出る雪の竹垣か　紀州 俳宗知

けさの雪日になりて通ひけり　葛里

跡に来て庭さき雪の朝の雪　術風

つもる雪に御門の力なし　埴里

雪の日やお宿の中の寒さかな　嵋山

葉のうへの雪や雪のおとの音　知白

雪みれや生きの松葉かな　雲歩

大雪や今ものみ込む空の峰　一徹

東風の京都も冬のけしき哉　素以

雪見　如泊
雪国　古巣
雪礫　墨水
雪仏　頂雪
　　岩手
　　古人
　　聖涼
　　雨人
　　梶立
　　岩手
　　優水

雪兎　雪氏
雪女　雪白
冬君　波鷗
　　土鈴
　　青々
　　鹿牛
　　栄夏
　　徐来
　　仁法
　　路紅

霙　五淳
　　江戸　金鶏
霰　　浜松　翠兄
雪兵　　京　深木
　　京　其正
　　大坂　惟鵲
　　浜松　春鶴
　　伊勢　可不
　　武辰　菊五
　　東儿

雪紙　　尾州　画舟
雪沓　　知至
　　幽笠
桃　　東明
　　住江　抹子
初氷　　素兄
　　住吉　雪雫
　　梅居
　　松望

氷

氷柱

凍

高風や宝生崎しばらく川か　佐倉 奥市

きのふまで氷らぬ目付けの昨　抜ナ 田旭

鶺鴒の跡こそ氷る素氷雨晴　大嶋

手燭や指しまぬくまぬあつかふ　右卆

うす氷月や横川へ通ふ豆腐売　暮翁

水玉ははてしなく滝のつらら　美濃 柳雨

笹さえの流れ氷に付つら氷柱　江戸 杖老

山里や氷柱落ちる背戸の口　薑水

菖蒲のちぢみ結ぶ人の流れ氷　阿波 宇林

かれ蘆や月夜ながらも氷る川　鱗若

煮凍

鐘冴

冬山

凍つくや本陣跡の馬たらひ　五雲

いそがしき夜や凍りし端の手塩　伊宮

にごりやこそ目立ぬ汐も　月居

宵寺や柳に煮凝の跡のあと　收芋

寒月や鐘の声の後や寺の鐘の気　乙二

冴る夜や竜頭の音の月　古門

うつせみの合やふ冬の山　蝶夢

あらくれや雲に冬のや　城居 葉風

夜の中に冬の寒しみ冬の宿　花鳩

こよひ寒さしらぬ冬の山　文里

冬野

朽野

枯埜

ゆくほとに野ハてしなき風寒し　潭月

唐崎の都もけふの冬野かな　民古

芝焼し跡の末まで冬野哉　先居 君山

人も見ぬ冬野のはてや夕の原　雪居

さゝ枯て風や梢の棒の先　臨苑

鷹狩も尽て冬野の雪ぞ立　里桂

枯野原斗風有中の雪の峰　信夫 浪花

一面に見る冬野のかれ野哉　七峨

見え来る道も中々小川の奈　甲斐 仙李

入日に枯し薄の野の哉　立濤

かれ野や心細くも冬の月　先居 菜名

あら海の浜に冬の雪かれ野哉　雨銘

船の火の見えて是ぞ冬の枯野原　華子 雪碑

見なれけり冬野のはてに山もなし　麦宇

やどなき変風見えて見るかれ野哉　鷺橋

こゝにある草さへ枯野かな　东芽

野は枯て只根の下に残りけり　望海

白紙に書すの墓の跡かれ野哉　上総 八谷户

何しても絶えし枯野かな　興赫

白の骨ある風に吹かれ野哉　魚坊

冬川

水涸

百尾　昌兮　丁箇

我百　蝶麦　敦足

一古　外央　五来　阿雑

冬構

北窓閉

雪垣

廣風　竹風　志功　聖陽

柳絮　波鷗　侵七　面谷

丁兆　其姑

叢卷

冬籠

[illegible]

仙巻

[illegible]

冬十三

葉之
但馬 呂與
坂里
飛騨 饒水
加賀 呂島
越前 峯白
信濃 如毛
越前 孤崇
鹿島
風迷

茶口切

[illegible]

信濃 樗陰
路風
紀伊 巢谷
吳竺
武蔵 北雅
只言
三川 參里
紀州 龍山
紀州 鷺白
紀州 風足

爐開　炉開　炭焼　炭桶

楚山　錆麦　武蔵 百雄　奥浄　東九　紀州 衣笠　五南　木原　錆破　石州 鉄望

炭鉢　炭鉢　炭俵　埋火

輪々　二柳　尺布　百尾　槌立　信濃 千毎　蝶夢　伊勢 鄭秀　人左　吉兒

搨火

李雨　道肥
一扇　丁月
紫苑
信法　志仙
越前　山煙
貝楽
丁水
摩尸　宗兆

炭

素綸
待石
樵隆
紫苑
秀曉
紫苑
古楽
越中　北平
整法
素子牛

炭団

炭竈

炭焼

炭賣　　周民
食　　仙業
　　指鳴
　　巴川
蘭園　　吳江
　　李郊
紙衣　　了定
　　菅水
　　桝風
　　敦睦

頭巾　　仲西
　　其白
綿帽子　　夢道
　　唐牛
足袋　　田丞
　　晋白
　　遠登
　　遺肥
　　涂浪

湯婆

寒

仮寝　上野　慎亭

万安　尾張

見二

成尾　春白

伊勢　仙露

安芸　楊花

紀州　梅庵

雄郎

水洟

凍瘡

戰

廣雪　播磨

泰溪

要光

貝柔

伊勢　黄婦

大和　山葉

信濃　百川

雨橋

近江　必得

鰤

木枯 凩

能や朝参りの無心松の足　李朝
鐵砲やひゞき高る鴨の聲　攝津 蒼流
狩ゆく不断ふむ砂や下佐女　路人
木からしや山も宮縁き入日影　淡路 廣国
こがらしや法隆寺越て日影入　伊予 東芋
木がらしの猫も戸ごもる夜半哉　出羽 羽人
木枯風に背中あて見る野路哉　薩摩 玉包
凩やさかまく雲の向ふ中　佐渡 周江
凩や一葉のこるあての麦　青蘿
木枯や吹きちらす枯る尾花　伊勢 里梭

あらしや西吹まくる浜の河　飛川
こがらしの空に寒ゆる月夜かな　甲斐 脱貞
こがらしや空にとり出す星の影　藍似
己のれや夜まで鐘の庵　京序
木枯や戸さゝぬ家の灯影哉　羅風
木枯風や松に吹とて袖の肩　錦愛
木枯風や夜のやみを吹所　美濃 戸幽
凩や河にちらすくさの渚　越前 知水
凩や馬引かへす渡の稽　麦亭
木がらしや芦の葉裏をさはる　越后 止令

落葉

[illegible]　　京　河
[illegible]　　為爽
[illegible]　　只有
[illegible]　　花鳥
[illegible]　　京　圖南
[illegible]　　鶴美
[illegible]　　塙保
[illegible]　　紀藤　紫蘇
[illegible]　　丹后　蓮月
[illegible]　　[illegible]彩

文十九

木葉

[illegible]　　文雄
[illegible]　　鋼羽
[illegible]　　京　眉山
[illegible]　　松清
[illegible]　　春甫
[illegible]　　日白　虫巣
[illegible]　　梅溪
[illegible]　　雅縑
[illegible]　　素刻
[illegible]　　秋毛

散紅葉

朽葉

冬枯

冬木立

大魯
其黒
飛川
洲風
抱月
宗屋
昌鳴
石牛
狩業
[illegible]

冬枯

晉白
[illegible]田山
阿波渭川
谷水
泰里
紀州峯二
[illegible]鴨沙
紀州竹湖
伊勢友志
紀伊阿涼

枯櫻　嘉栄
枯蓮　陶々　李山　杜由　秀曉　警香　坊城　坊房　芳海　戸逸
枯萩　枯萩　枯萩

枯葉　雨絡　五来　之川　蓬青　墨斎
枯蘆　陸奥　乙外
枯菊　伊与　秋也　備中　集雨　蘭圃　古巣
枯芦　摂津　志柳

枯葉　茅白
枯葉　桃岸　土州
枯葛　有義　土州
枯葛　新蛟
枯葛　晋吉
枯葛　無一　江戸
枯茨　風後　丹波
枯草　湖藻
枯草　丁亀
枯草　宣長　尾張

帰花

千種　土州
徳橋
沂風　伯耆
亀鏡
塘里　江戸
雪珊
魚翠　江戸
野橋　伊勢
綺石
梧泉

忘花

山茶花

もゝ咲しふる日の帰り花 堂右 馬篤

掻子の枝の花にもや[illegible] 可頼

咲くのは咲くかくかへり花 周防 霞笠

梅も我々梅をおもひ咲に 芦舟

かへり花桜も其の木の葉も[illegible] 佛仙

二ツ三ツさき花われも咲く 下総 甫筝

花の見る花乃花ある花の花 淡路 祇東

さゞん花の白きも我が日影かな 九阜

清く咲やうち[illegible]乃庭まで 雪下

山茶花や唐[illegible]花の[illegible] 蕪[illegible]

水仙花

寒菊

山茶花やちる葉の中に花まじり 羽孔

菊の根乃白さは[illegible]の花もち 淡泉

見てや雪の根さへの水仙花 加賀 流蛍

水仙や額の[illegible]の縁すく[illegible] 道肥

[illegible]の風の白の日の水仙花 和泉 古道

一枝も折るを[illegible]の花 淡路 嘗石

草もなくや枯[illegible]日か 探梅

寒菊やさく[illegible]も[illegible] 長水

寒菊やうら枯さきて冴かな 讃岐 文湖

寒菊の百夜通ひに咲[illegible] 巴明

枇杷花

茶花

冬牡丹

大菖蒲

八手花

錦木

室梅

蘭植　うへ蘭や之国の中に植ふる
大根　四の橋や四の国の栗毛の子
　　引の勇大根も長き長き数
蕪　後ろ山や風まじや大引
　　九くるくる紙ぶくろかつる蕪
　　ちらちらやちとおきうる世をか
胡蘿蔔引　中風やくしゃ〳〵参引
蕎麦刈　この比やこまうる紙色々の蕎麦細
麥蒔　株ふる刈あとの蕎麦細
　　麥蒔や花ふる〳〵ちりて

[illegible]　小河
[illegible]　布袋
[illegible]　茶煙
[illegible]　五橋
[illegible]　芦洲
[illegible]　清水
[illegible]　磨橋
[illegible]　里翠
[illegible]　米五

丁菜　むかし荷や紙ふる牛の角
　　麥蒔やちりてやもるる雨ふる
　　人のすむ郷ふる有ふる蒔菜
荳菜　これ見のあるし老ふる千菜
　　かなくふるふる白ふる治りな
綱代　夫まつや菜の主ふのまるるぬ
　　陸奥のきし人ふる大根や蕪の
　　神ふる入ふる此のふるりやあふる
　　何ふる守ふる月ふる夫ふる月ふる
　　月出て鼻ふる〳〵綱代ふる

[illegible]　故栖
[illegible]　揚花
[illegible]　荷村
[illegible]　懐花
[illegible]　蘭窓
[illegible]　其綱
[illegible]　冬水
[illegible]　一峯
[illegible]　玉木
[illegible]　魚坊

氷魚

鮎

一扇　桃五

荷亭

嘉尼

桃舍

髮風

得皮

鳴泉

紫漬

竹筍

鱈

生海鼠

松洞

鶴汀

千當

吾舍

草鳥

魚候

仙風

子皐

南甫

古橋

河豚

信濃 紅素知　五来
信義 希双
自徳
李山
知洛
意国
伊与 巴令
京 九和
伊勢 乙坡

千鳥

門翠
江戸 百舟
吟舟
駿河 梅雅
蘆亭
李雲
吉言
伊勢 巣渓
素牛
琴雪

鴨

鳴

都鳥

甲州 晴江
尾張 寸長
其猶
恕風
薩州 達蹄
千彩
作法 東戸
三笑
一路
尺艾

冬廿八

鴛鴦

吳竹
夏金
女 義朝
路雪
京 雅業
鶯曉
是貞
其遠
似蘭
蘭山

水鳥

鷸
鴫
鷸鴫

秋水　當年
駿河　吐詠
風堂
丁友
尾州　此君
駿河　官里
杓鳥
作蒙
一幹

木兎

鷦鷯

丁考
作蒙
駿河　蝶夢
花朗
麦宇
掬雄
巴陵
軽舟
兼百
宗談

鶯子

喜多ちかし梅のかくれや鶯子 (浮皇)雲下

さゝ啼や朝日に向ふ牛の口 蓼綠

鳴けるや鶯子の向や紅粉畑院 如左

冬の縄日影に向ふ垣の苔 西李

冬縄り人はどうやら冬風へ 無徳

冬縄

干ち向に行縄日や冬の縄 (近江)紫紅

なまし打ち声や硯の山嵐 木海

納豆

納豆でくれる月の寺の鐘 貝朶

一升の納豆くれや十月 百尾

名月の紀元寺からあと (美濃)叔山

苻焼

苻焼や月満て来る頃の色 志行

十一月

霜月

霜月や隅々までも里神楽 半渓

さも風さえ霜夜の月よりも寒し (播子)寒桐

初冬の梅書く頃のけしき哉 (紀伊)之露

冬至

菜隠り瑞きこゝろの冬至哉 之兮

暦賣

暦売や神さへ都より来る (大和)四道

来年の世を見るや暦売 知風

髪置

髪置くや母の姿の宝なれ (女)寿江

袴著　信濃　鶴男
被初　上総　鳴水
新嘗會　河内　麥奴
御神樂　大和　不染
里神樂　作州　美婦
　　作州　如毛
　　大和　集嘉
　　周泉
　　渦天

火燒　曉壺
吹草祭　薄亭
子祭　古巢
子燈心　信濃　葉龍
空也忌　京　紫知
　　和泉　季樞
　　信濃　蓑露
　　十言
　　如泊

鉢敲

大師講

御七夜

鉢たゝき法にしたがふ踊り哉　越中 蘭臺

京中にぬの寂しさ鉢たゝき　琢菱

月さえおもしろき八瀬の鉢叩　巒古

出て行く肥し人なき鼓　青々

人の世や今宵も捨ぬ鉢叩　霜丈

松風に冴えゆく夜の鉢たゝき　尾張 春祐

細く成る灯籠の火影も大師講　涌山

大師講やふるき茶の湯も嵐かな　加賀 楊花

梅も咲く風の冷えにや大師講　越后 杜門

埋火の庭掃きて寒さ哉　己百

顔見世

冬至梅

太山樒

芽柳

槿花

おのれや老せぬ都の山　梅人

都人のきや心帰るる君が代　信濃 鶯文

顔見世や早う入る顔白鷺　伊勢 路鳥

かけさせや梅の難波の紅葉かな　其橘

若鳥の来て鳴かぬる冬至梅　江戸 喬志

光る灯も智恵つくや冬至梅　備後 雨峰

苔付も今の寒さに山樒　霞翅

水をまくてる花間まで柳　土佐 子楓

わかれても日ぞる若芽の柳かな　伊予 ??知

人志らぬ垣根の花やたのゝ　紀伊 錦水

柊苞

葱

雪海苔

初海苔

鰤

鰤五　卯也　大和　友雲　一義居　摂中　山城　斗流　駿河　眼子　摂津　雨申　紫苑　晋佶

鯨

牡蠣

鮟鱇

杜丈魚

乾鮭

藥食

大海より出るあるくじら実かまの底やゆかりたる海の水人のうまあるはかりまるる海人とかかるとりあるくまるる事

栗五　支百　冬瓜　近江　湯葉　几董　芋水　古声　菓男　木泉　紫苑

菓子の打番もちまる

鷄卵酒
生姜酒
霰酒
蕎麦湯
獵

人まちて玉子酒出す茶わんかな　新秋
塩梅ハ人そ知らん生姜酒　貝朶
飯くふと見るや霰酒　臨甚
茶くらひ薫きし猪のこゝろ　鶯橋
雪の夜またあとのこる風　羽毛
さむき湯気もさそふ雲の月　嵐悠
消えてさらに雪かな　三輅
うき世の中年のたききかな　丘高
雪も無く出て猟場かな　里秋
雪の夜猪の大くる山の方　麦蕉

夜興引

よこ雲に宇代根の山路かな　右汶
犬の鼻と見ゆるに入るや森の山　鋒蔓
峯越のさ渡る夜興引の山　瓦全
獲せし森の夜興引の声の端かな　花縣
猪もなし夜興引のあとに入る那　茲史

鷹狩

鷹の目やさらにその雪の　蹊山
放つやる鷹のあとの　鳴鳳
たえらや氷を足にはらふ人　保??
よろ猪や甲斐が嶺の雪の　只言
山の人の河の鷹野かな　無?

[illegible]　莊瓦
[illegible]　菓男
[illegible]　賀瑞
[illegible]　香袖　天仙
[illegible]　苦人
[illegible]　見樹　紙宝
[illegible]　笠海
[illegible]　作楽
[illegible]　白及
[illegible]　呉竺

鳥吽
燒鳥
力草
落帥
教手

冬三ノ五

十二月

師走　[illegible]　德樓　尼
百姓の[illegible]　古友　京
[illegible]　車容
乙子月　[illegible]
[illegible]　南洞
[illegible]　素郷
臘八　[illegible]
[illegible]　良果　安房
佛名會　[illegible]　夏氷
[illegible]　芦瓦

事始

寒入

寒内

寒雨

冬三十八

甲斐 東樹
信濃 自至
巴川
知治
芝苑
末 晋來
之江 其張
三泉
藥隱
一幹

寒月

寒念佛

行方 鳳来
之江 芦舟
無潮
之江 梨風
京 金清
上野 素雄
仮與
俊祐
千影
常陸 馬蹄

寒声

[illegible]　蕾白
[illegible]　芝秀
[illegible]　斗湖
[illegible]　其友
[illegible]　燕士
[illegible]　朧義
[illegible]　投老
[illegible]　雄方
[illegible]　紫知
[illegible]　林宝

寒垢離

[illegible]　仲寫
[illegible]　無諍
[illegible]　生義　南枝
[illegible]　緑砂
[illegible]　尺艾
[illegible]　東　自珍
[illegible]　蓍杉
[illegible]　木朶
[illegible]　東　桃李
[illegible]　梅渠

寒曝

寒造　[illegible]　浅草　青坡
寒水　[illegible]　信濃　山文
寒紅粉　[illegible]　桑五
寒椿　[illegible]　呂竹
寒梅　[illegible]　武蔵　尺素
　　[illegible]　雅海
　　[illegible]　周的
　　[illegible]　宇甲
　　[illegible]　千弓
　　[illegible]　秋瓜

寒梅　[illegible]　浪志　和友
寒梅　[illegible]　山城　吳野
早梅　[illegible]　雲帯
冬梅　[illegible]　杜口
臘梅　[illegible]　伊勢　花的
雛乳　[illegible]　洞益
　　[illegible]　楓川
　　[illegible]　紀若
　　[illegible]　伊勢　桃門
　　[illegible]　芦水

鵲巣　安之
貢　其中
札納　桐阿
衣配　文碟
節分　古友
年越　朱三

冬三九

寒舟　柜押
厄拂　鯨山
格剤　丁水
翻訳剤　幸日
豆打　其席

とり鍋や大うち山へ登りうめ
うめうめ二月六日も俳諧下
手つくや梅さくらも寒の内
傾城の寒さ厚ぶとや厄ぶと
淀くまで四ツ時けりやく拂ひ
ぶ寒中の形の格りさうる書
さしの格りあるあら新乃書
園乃門出るあら鄙のしらあ
物のてのまもる新のいそし
豆もちや見送る梅ちる

豆祝

年内立春

年の豆はらちても残りけり　伊勢 立高

清見寺やさらに太房が数へる重　江戸 鶯志

すゝめちや隣の家も眉を見へ　甲斐 古門

数をかへるもちら年の豆　風後

やつ豆くらぬものを見へ　近江 水石

けふ乃内のゑやとも豆の雪　雨竹

年のうちに春きて降や雪の花　石牙

年乃内春や家の小雨　素友

年越のむかしや夕の日乃影　珠光

うめ春の夢をまつ梅の花　梅人

雪見

煤掃

すゝめや顔まゝの風呂乃水　鐵菱

冬ありて霞のかすみ見る　業戸

芹川や行つむ今年の雪　玉谷

とつ舟乃まや雪の夢つ　五竹

掃きさる我と行く雪の声　竹涼

ちらちら雪の香のまとふ　信州 園士

人の話や雪の見る　紀伊 一南柯

すゝ掃て今月の月　陸奥 漣因

まゝ掃や夜の灯の影　龍川

煤はきや夕乃明り　越后 松后

足穏の門を敲や煤はらひ　朱之

業ゆゑいく世を積る煤顔　素兄

煤掃やむかしの文の作女人　披雲

たゞ見るも夜やまた掃　引牛

煤掃て月夜まだいそくおそし　鶴飛

煤掃や埃を出す紀伊世の音　和沁

煤けたる物の縁に日の光　桂舟

春く掃や手を入れる下を見る　餅鳥

すゝはきや屋根さまよふ猫の声　立季

皆掃や物あてのある嵐の子　朝炊

餅舂

餅つきや湯気の中なる灯の影　佐倉某

ゆきの夜も寝ぬ餅つく隣の戸　標六

もち舂や餅まつ声も明の鐘　古井

もち搗やまた見ぬ夢の朝乃音　五丸

餅つきや去年は今年雪の白　集思

餅洗ふといふ名のおもみ葉の拝　月居

餅花

祝ふさゝ餅花つける小松かな　黄白

餅花の青さ見えてるかざ棚かな　杉柿

灯に月夜のさゞむやもちの花　何鳥

青莚

またの夜も花もまた青莚　一徹

年木

蓼候

蕎菅

高帛

秋毛

雪溪

露巢

琴雄

馬瓢

星秋

推五

吉門

梁知

普白

冬四之二

坐忘

隨和

旭布

巴川

其西

洞爰

知水

謀夢

五雲

茶巾

松賣

葉竹賣

穂長賣

羽子板賣

星佛賣

門雲立

俊甲 葛十

立付

義房

土佐 吾次

尾張 和十

葉之

京 文車

精舟

紫蘇

伊勢 有東

冬四ノ三

古屋

色恋

那須雀

設永

木原

古葉

衍風

柳荘

紫蘇

槐立

萬戸

巳明

歳暮

月溪
百鶴
泰里
瓦全
紫紅
雪桂
蓮史
九皐
杜音
冬季

行年

蘇碎
對馬
字湫
坡庵
紫紅
石牙
菁莪
瓜洲
二種
吉言
花舟
江戸
雨静

惜歳　　曹和

春待　　度秋

春近　　梅月

小晦日　　二仙

大晦日　　丹人

除夜　　小義

年夜　　巴子

大年　　黄治

多能

大やまと　黄水
神隠　魚渕
すまひ　古謙

中屋庄兵衛

巻四六終

寸息甲

中屋庄兵衛